



ひとつぶの種

杭州日本人学校
学校便り第 150 号
令和 3 年 9 月号

杭州っ子の可能性は無限大!

25日間の短い夏休みが終わり、前期後半が始まりました。8月に入ってからは、杭州市外への行動制限をお願いするなど、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの夏休みになってしまいました。そんな中でも、杭州っ子たちが元気に登校してくる様子を見てホッと安堵いたしました。保護者の皆様には、夏季休業中の動静について緊急のお願いや調査にご協力をいただき本当にありがとうございました。

前期後半も新型コロナウイルス感染防止対策を取りながら、教育活動の充実に取り組んでまいります。保護者の皆様には、引き続き登校前の検温と検温カードへの記入等ご協力をよろしくお願いいたします。



さて、8月18日の前期後半開始式の校長講話で、私から杭州っ子たちへ東京オリンピックを題材に以下のような話をしました。

今回のオリンピックにおいて、印象に残る素晴らしいシーンが数多くありました。中でも私の心に残っているのが「中学生たちの活躍」です。例を挙げると、スケートボード女子ストリートで金メダルに輝いた西矢 栞さん(中2・13歳)、同女子パークで銀メダルに輝いた開心那さん(中1・12歳)、さらには水泳高飛び込みで8位に入賞した玉井陸斗さん(15歳)たちのひたむきに頑張る姿です。彼ら中学生が世界の頂点に立つ姿や、友達でもありライバルでもある仲間と競い合う姿を見てとても感動し、若者たちの生き生きとした表情に無限大の可能性を感じました。彼ら中学生の大活躍を見て、大きな刺激を

受けた杭州っ子も多くいたのではないのでしょうか。「頑張れば何でもできる、何にでもなれる!」という諦めない気持ちが大切です。そう!「ぼくらの可能性は無限大!」です。

開始式の話の中では、金メダルに輝いた西矢さんから同世代の子どもたちに向けた左のエールも紹介しました。



《西矢栞さんからのエール》
13歳の私でもオリンピックで金メダルが取れたので、同世代の皆さんも諦めず最後まで頑張ってください!

「中学生たちの活躍」は一つの例えです。大切なことは、目標や夢をもち、その目標や夢に向かって進んでいく気持ちを持ち続けることです。そして、その気持ちは、自分の可能性を信じてくれる人の存在によって支えられています。子どもを信じ、「あなたならきっと大丈夫だよ!」と「OK」を出す声掛け、それこそが「自信」や「やる気」を徐々に育み、自己肯定感の種を蒔くことにつながるのだと思います。私自身も「子どもたちの無限の可能性を信じて、いつでも寄り添える存在でいたい!」と願っています。

9月に入り、25日(土)に開催予定である本校の一大イベント「運動会」に向けて、子どもたちは精一杯練習に取り組んでいます。本番ではきっと中学生のメダリストに負けないくらいの素晴らしい演技や競技をする姿を見せてくれることと思います。

是非ご家庭でも、練習における頑張りや楽しさについて話題にしながら、「我が子の可能性を信じる声掛け」をしていただくとありがたいです。その声掛けが糧となり、お子さんは自信をつけ「明日も頑張ろう!」と意欲を燃やしてくれることと思います。何卒ご協力をお願いいたします。

